

学校図書館だより



2016年 2月 23日
 横浜市立森の台小学校
 校長 田中 公明
 図書主任 清水あゆみ
 学校司書 近江弥穂子

No. 10

今年度も約1ヶ月となりました。1年間学校図書館を彩っていた飾りは、図書ボランティアさんが作成してくれたものでした。知っていましたか？2月は節分バレンタインの飾りでしたね。みなさんも、よりわくわくしながら学校図書館に足を運んだことでしょうか。また今年度の締めくくりとして、図書委員さんが低中高学年ごとの人気図書ランキングを作成してくれました。読んだことのないジャンルの本や上級生に人気の本にチャレンジしてみるなど、本を読むきっかけになってくれたら嬉しいです。

図書室からのお知らせ

- 今年度の貸し出しは3月2日（水）までです。
- 本は3月9日（水）までに必ず返しましょう。
- 3月10日（木）、11日（金）は蔵書点検で学校図書館はお休みです。

もしも本をうっかり破ってしまったら切れたものと一緒に返却してください。破れたままだと廃棄するしかなくなってしまいます

先生のおすすめ本

天野先生（2-1） 『みんなうち』 五味太郎作	清水先生（2-2） 『よるくま』 酒井駒子 作	岡崎先生（2-3） 『続・こころのふしぎ なぜ？どうして？』 大野正人 原案・執筆	新井先生（2-4） 『図書館のトリセツ』 福本友美子 著
-------------------------------	-------------------------------	---	------------------------------------

面白いし、絵がすばらしいので、おすすめですよ！！
 今まで担任した低学年の子どもたちも大好きでした。

心があたたかくなる本です。
 ぼくとママが会話している感じで書かれていて、音読するときに、気持ちがこめやすいです。読み聞かせが楽しくなる本です。

『どうすれば、しあわせになれるの？』『めんどくさい』気持ちはどうやって倒す？』など、心の奥の方から生まれてくる疑問に、わかりやすく答えてくれる本です。迷った時に、少し前を向くヒントが見つかりそう。大人の方にもオススメです。

図書館の楽しく正しい使い方がわかる本です。

トピックス ～ルーシー・モード・モンゴメリ～

ルーシー・モード・モンゴメリ(1874-1942年)はカナダの小説家で、有名な『赤毛のアン』シリーズの作者です。カナダの東海岸、プリンスエドワード島で生まれました。母親が早くに亡くなると、父親もカナダ西部に移住してしまったため、彼女は母方の祖父母に引き取られました。祖父母の住むキャンベディッシュは、主な産業が漁業と農業の海辺の村であり、周りを海岸や森や野原などの豊富な自然に囲まれた環境で育てられました。また、祖父の一族は、祖父を始めとても文才豊かな人が多く、その影響で彼女も自らの文学的才能を開花させることとなります。しかし一方で、保守的な祖父、口うるさく支配的な祖母との生活は彼女にとって気詰まりなものでした。このプリンスエドワード島での一連の経験は、彼女の作品に大きな影響を与えます。彼女は大学卒業後、教員免許を取得し、一時期、教職についていたこともありますが、それも長くは続かず、新聞社の記者などの文筆業に携わるようになります。雑誌向けの短編作家としてキャリアを積んだ彼女は、1908年に最初の長編小説『赤毛のアン』を出版しますが、これが世界的ベストセラーとなる大成功を収めます。その後、『赤毛のアン』シリーズを含め、生涯に20冊の小説と短編集を書きました。『赤毛のアン』は日本では1952年に村岡花子により翻訳・紹介されましたが、少女層を中心に大人気となり愛読され、後には中学の国語の教科書にも収録されました。1979年には世界名作劇場シリーズでテレビアニメ『赤毛のアン』として放送されました。『赤毛のアン』ファンの中には、モンゴメリの生地、プリンスエドワード島を訪れる人も多いそうです。学校図書館の『赤毛のアン』シリーズ、ぜひ手に取ってみてください。

今月のおすすめの本

「たんだのたんてい」
中川李枝子さく

「ランドセルは海を越えて」
内堀タケシ
写真・文

「チャンプ 風になって走れ！」
マーシャ・ジョーンズさく

ある朝新聞を取りに行くと、入っていたのは、『に・じ・は・がき』と何とか読み取れる人参色をしたあちこちでこぼこの使いかけのチューブ。だれが入れたのでしょうか？早速たんだはナゾを解くため探偵を始めました。

6年間大切に使われたランドセルをアフガニスタンに届ける運動があります。アフガニスタンの学校へ通う子どもたちの宝物となるランドセル。受け取ったアフガニスタンの子どもたちの素顔がいっぱいです。

スポーツが苦手なライリーはなんでも中途半端にやめてしまっていて、お父さんの期待にこらえない自分が辛かった。でも、交通事故で片方の前足を失ったショートッグチャンプをひきとったライリーは、犬のスポーツの一種アジリティー競技の練習を始め…。

編集後記

2月16日に予告なしの避難訓練がありました。中休みでしたので、学校図書館には1年生から6年生までの児童がいました。突然サイレンが鳴り、びっくりする低学年の児童も見受けられましたが、みんな静かに放送を聞いて災害が何か、どこから出火したかを把握していました。そして居合わせた6年生が「本を置いて並んで。」とみんなに声をかけてくれて、2列になって全員静かに避難できました。学校図書館で反達と楽しく休み時間を過ごしていても、いざという時は6年生としてしっかり対応する姿はとてすばらしかったです。

「何が大切かを考え、情報を解いて、行動する(表現する)」、このような力はいろんな場面で必要です。ことに情報があふれている今を生きるには、つけるべき大切な力だと思います。本を読むこと、調べることとはみなさんがこの力をつけるのにとても役に立つと思います。学校司書 近江